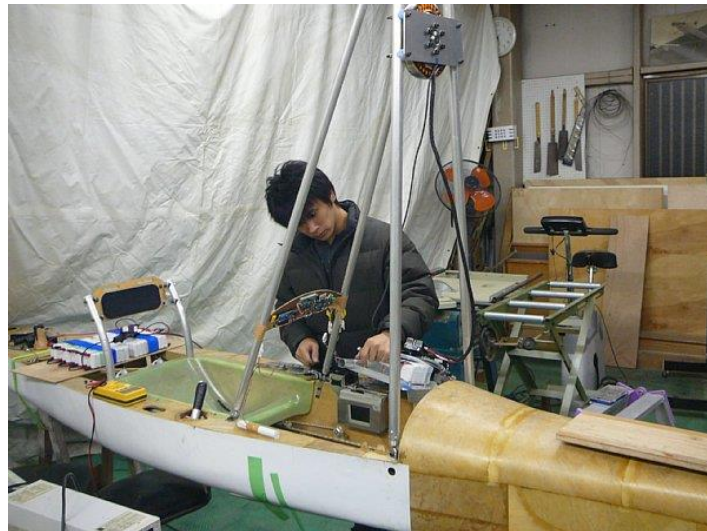
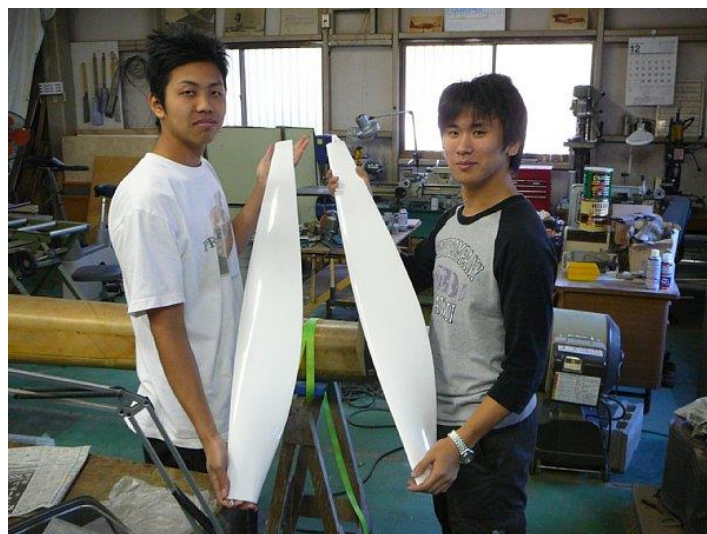


『ソーラープレーン現状報告 1』

昨年中に電力飛行までは実施したいところでしたが、諸事に追われ実現できず悔しい思いをしております。モーター、バッテリー及びコントローラーの実装は昨年末に完了し、正月中は元日を除き、連日サレジオ高専の横山、船岡、石渡の3名を中心に計器類の装備が行われました。モーターによる電氣的なノイズの影響など苦戦しましたが、何とか所期の機能が達成できたようです。あとは実機試験で確認するばかりです。



プロペラは、私自身、初めてのコンポジットブレードに挑戦しましたが、何とか完成できました。2翔式プロペラですのでブレードは2枚。メス型を起こすかどうか土壇場まで迷いましたが、仕上げに拘らないなら2枚でも”削り出しコアにグラス張り込み仕上げ”が工数が少ないと見込んで始めました。終わってみて、実際はメス型工法でもほとんど差が無かったように感じます。”仕上げ”という魔物はいつも工数を狂わせませす。



電力飛行まで、残すはプロペラを回す駆動系です。1段減速を掛けていますので、プロペラシャフトはモーターと共有しません。ピッチコントロール機構を持たせるため、固定ピッチに比較して、5倍くらいの工数を要しますが、試験飛行の効率を格段に改善しますから、これは諦められませんでした。今週中には完成できる予定です。



このままのペースで作業が進めば、今月中にも電力飛行が行えそうです。いつも通り、東京フライングクラブさんの飛行場をお借りして実施する予定です。その後のテストは、宮城県栗原市の瀬峰飛行場にて実施するよう現地有志の方々からお誘いを受けております。

ここで、皆様に再度、ご支援のお願いをさせていただきます。このプロジェクトは当面、事業として採算は見込めません。エンジニアリングの将来を担う青少年の心に火を点ける、純然たるチャレンジプロジェクトです。完成後は、日本中で、ソーラー飛行をアピールする計画です。必ず未来の日本を支える若者を発掘する好機となります。どうか皆様のご理解とご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

四戸 哲

2013/1/8